



ななサボ



越谷市市民活動支援センターでは7つのサポート(ななサボ)を行っています。

発行元：越谷市市民活動支援センター 〒343-0816 埼玉県越谷市弥生町16-1 越谷ツインシティBシティ5階 URL <http://koshigaya-activity-support.info/>

地域コミュニティ
市民活動団体
民間事業者等の協働で



未来へつなげよう
地球と人にやさしいまち こしがや



● 豊かな環境を未来に残すための市民活動 ●

越谷市は、「水郷こしがや」と呼ばれているように、かつては湿地や沼が広がり、豊かな自然に恵まれた場所でしたが、都市化の進展に伴い、緑が減り、環境悪化が心配される時期がありました。

このようなことから、越谷市は、平成12年に越谷市環境条例を施行し、環境の保全及び創造に関する施策の基本となる事項などを定めました。

さらに、平成23年には越谷市環境管理計画を改定し、望ましい環境像を「未来へつなげよう、地球と人にやさしいまち こしがや」とし、5つの基本目標を設定しました。（※右記参照）

とくに基本目標5では、「市民みんなの協働で、だれもが環境保全に参加するまち」と願し、市民参加の立場から環境を守る取り組みを強調しています。

今回の特集では、緑地の維持管理作業、河川環境の保護活動、ゴミ拾いなどの清掃美化活動を続けている複数の団体をクローズアップしました。



越谷市環境管理計画の 基本計画と具体的な目標



基本目標1 安全で安心して暮らせる生活環境を守るまち

市民・事業者・行政が、それぞれの立場で、環境へ大きな負荷をかけない生活や事業活動に心がけ、空気、水、川など環境に対する負荷を少なくすることで、安全で安心して暮らせる生活環境を守るまちとする目標とします。

基本目標2 資源やエネルギーを大切にし、エコな暮らしを実現するまち

不要な照明の消灯や、公共交通機関をできるだけ活用するなど、各自の暮らしの中で出来ることから取り組みます。また、地球温暖化対策のためだから、と我慢ばかりをずっと強いいるような社会ではなく、新エネルギーや省エネルギー、資源循環などの新たな技術を積極的に取り組んでいくことにより、環境に優しい、新しいライフスタイルへの転換を図り、資源やエネルギーを大切にし、エコな暮らしを実現するまちとする目標とします。

基本目標3 多様で豊かな自然の恵みを次世代へつなげるまち

生き物とふれあえるピオトープや、河畔林、農地、社寺林、屋敷林といった緑、河川・用水路といった親水空間などの豊かな資源が、将来にわたって継承されるように、多様で豊かな植物や動物の生息・生育環境等、自然・生態系、緑が保全されることにより、多様で豊かな自然の恵みを次世代へ残せるまちとすることを目指とします。

基本目標4 潤いと安らぎがある、住み続けたいまち

先人から脈々と受け継いできた文化や歴史的な資源、大落古利根川や元荒川、綾瀬川などの河川や、葛西用水をはじめとする農業用水路による豊かな水環境や埼玉鶴鳴周辺、久伊豆神社・みどりの森公園周辺といった環境保全局域など、越谷ならではの景観や街並みを保全し、都市と自然の共存を図ります。越谷の歴史と文化が感じられ、潤いと安らぎがある住み続けたいまちとすることを目指とします。

基本目標5 市民みんなの協働で、だれもが環境保全に参加するまち

あらゆる主体が環境保全や生物多様性の保護などに関する意識を高めるために、あらゆる場所で環境教育や環境学習が行われるとともに、それぞれの立場から積極的に行動し、普及に努めるなど、常に良い環境づくりのために活動します。そして、これらの各活動がネットワークとしてつながっていくことにより、市民みんなの協働で、だれもが環境保全に参加するまちとすることを目指とします。



越谷市市民活動支援センター平成30年度の協働事業

越谷市市民活動支援センターでは、市民活動団体とともに、活動の活性化と協働のまちづくりの推進のため年間を通して、さまざまな事業を行っています。

◆出番です！わがまちNPO① 一単独企画

市民活動の場の提供と運営の支援、および周知促進のため、市民活動団体が主体となり、事業企画・運営を行う場を設けます。

◆出番です！わがまちNPO② 一協働企画

市民活動団体におけるノウハウを発展させるため、複数の市民活動団体が協働することで、より充実した企画・運営を行う場を設けます。

◆出番です！わがまちNPO③ 「まっぽひろば」

【おはなし会】 絵本を通じ、豊かな親子関係を築くことを目的に、親子が心を通わせる楽しいひとときを提供します。

【子育て交流サロン】 長世代交流や子育てに関する話題を共有できる場を提供します。

◆出番です！わがまちNPO④ 「うたごえ広場」

市民の交流と健康増進を図ることを目的に、明るく楽しく歌うことで心と身体が健やかになるような場を提供します。

◆出番です！わがまちNPO⑤ 「かふえども」

地域の方々に交流の場を提供し、市民活動の幅野を広げることを目的に、当センターの登録団体が主体となり、企画および運営を行います。

◆出番です！わがまちNPO 「パソコンなんでも相談」

パソコン操作が困難な市民のためのマンツーマンの相談会。

◆センターの日

当センターおよび登録団体の活動をより多くの方々に周知するため、登録団体の活動紹介や作品の展示などを行います。

※各事業の日程等が決まり次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

登録団体一覧メント

越谷市政モニターOB会 watabe-t@ad.cyberhome.ne.jp
市民の皆様、楽しむながら市政に参加しませんか！相談・提案を通じ、安心・安全な越谷の街づくりを目指す本会です。市政モニター候選者以外の方々も入会OK。意欲ある市民の参加をお待ちしています。（渡部さん）

越谷市母子支援福祉会「すみれ会」 tamatobako@bluebird224@gmail.com
本会は越谷市在住・在勤の一人親家庭が地域と交流し励まし合い、生活向上と問題解決のための方策を求める事などを目的としています。いつもお声かけください。

特定非営利活動法人介護サポート燃遊義会 myamashou623@ra350.nathnet.jp
住み慣れた地域で健康で安心した生活が送れるように2006年より健 康体操・施設支援・生活支援等お手伝いをしながら、いろいろな方が自分 の健康と生き甲斐つくりに頑張っています。（山口さん）

特定非営利活動法人Take http://www.Take.or.jp
障害者（児）の支援を越谷市で展開し今年で20年を迎えます。「これからも地域の皆さんと共に越谷市の福祉の一翼を担ってまいります。（倉野さん）

越谷アリタキ緑の会 achichi2013@hbt.jp

この会は、越谷アリタキ植物園の樹木や野草の調査・維持管理・未開拓へのガード、校外学習の小学生への学習支援、周知活動など会員各自が得意なことをおこなっています。（高橋さん）

おともサークル [Rhyme] otomo.circle.rhyme@gmail.com

初めて触れる「おと」、同じ年頃のお友達やお母さん同士「ともだち」になれる様「とも」から名付けました。演奏活動を行っている「一人を中心」に体験講座やコンサートの企画をしています。（成田さん）

ピアリオバトルin越谷 TozTakeda@gmail.com(武田)
読書の好きな方が紹介したい本を持ち寄り、各自5分間で紹介し3分間質疑をするゲームです。1冊の本をまとめて発表する「かわいいの会」等を開催します。精神的な回復力を援助する活動をしております。（内田さん）

グリーフサポート埼玉（生と死を考える埼玉支部） grikoshigaya@yahoo.co.jp
何かを喪失した時の心身の反応をグリーフと捉え、特に大切な人を亡くされグリーフに苦しんでいる方々に寄り添う「わかちあいの会」等を開催し、精神的な回復力を援助する活動をしております。（安井さん）

ふれあいサロン「たかばたけ」 may.jin143@gmail.com

ふれあいサロン・たかばたけは居住地域、対象年齢を定めないなどあなたでも利用できる多世代広域型サロンです。健康体操・ゲームなどプログラムを固定せずに利用者の声を聞きながら皆でサロン作りをしています。（安井さん）

観光情報

越谷ねぎ匠の会



生産者のみなさん

高くて美味しいねぎであることがコンセプト。最初は卸しに苦労した」そうです。しかし、松本さんは自らスーパーに赴き、試食販売をするなどねぎはあつという間に売れ、やがて小売店にも受け入れられていったそうです。「量を作るのではなく美味しいものを作ることで他のねぎと差別化をはかつて、そのためには規格基準」と松本さんは言います。

「越谷ねぎは歴史があつておいしい」ということを地元の人にもついて知つてもらいたい。越谷ねぎを全国に広めるため、「越谷ねぎ匠の会」を生産者と一緒に立ち上げました。ねぎの生産者と事務局の松本さん、農協などが加わり、越谷ねぎの規格基準を作りブランド化し、共同出荷を行う団体です。約5年前、当時商工会の特產品開発委員会副委員長を務めていた松本さんは、市から越谷ねぎのコードイネートを依頼されました。飲食店業者や生産者を集め、合コンならぬ「ねぎコン」を行い意見交換を行いました。生産者はそれぞれ良いものを作ろうと各自こだわりを持っているのだといいました。しかし生産者同士の交流は少なく、なかなか知識やノウハウを共有できていませんでした。そこで松本さんが生産者同士をマッチングさせ、より良い生産の形を目指しました。生産者同士が協力して、出資し立ち上げた団体は珍しいと松本さんは言います。越谷ねぎの専用袋を作り共同出荷しています。

越谷ねぎは軟白部がしつかりと縮まっていて、煮崩れせず、辛みと強い甘味が特徴です。糖度は生の時で8~11度（いちご並み）。加熱すると14~20度（巨峰並み）近くになります。その美味しさの秘密は、越谷市の地形にあります。河川、綾瀬川など利根川水系の一級河川が運んできた水分の保たれた砂土壌のため、自身の縮まったねぎができます。また、越谷の土は乾燥すると固まり、ねぎにかなりのストレスを与えるため、弱いねぎは負け、強く良いねぎだけが生き残ります。さらに、越谷は霜が降りても雪は多くは降らない地方であるため、まつすぐねぎを育てることが出来るのです。生

産者の栽培に対するこだわりも強く、通常の土寄せより、多く行っていることで太く長いねぎができるのです。旬は11月後半から3月までとのことです。

越谷ねぎ匠の会事務局 営業部 担当：松本 048-1999-16372 本紙は、越谷市市民活動支援センター登録団体及びななサポ編集委員のみなさまにご協力をいただき、編集・発行を行っております。

問い合わせ

越谷ねぎ匠の会事務局

担当：松本 048-1999-16372

年3回発行、本紙・送料は無料です。配布にご協力いただけ

る方は、越谷市市民活動支援セン

ターまでお問い合わせください。

■お問い合わせ

越谷ねぎ匠の会事務局

担当：松本 048-1999-16372

年3回発行、本紙・送料は無料

です。配布にご協力いただけ

る方は、越谷市市民活動支援セン

ターまでお問い合わせください。

■お問い合わせ

越谷ねぎ匠の会事務局

担当：松本 048-1999-16372

年3回発行、本紙・送料は無料

です。配布にご協力いただけ